

令和元年度 前期学校評価アンケート結果のご報告

前期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。児童数 475 名（アンケート実施当時）に対して、保護者の回答数が 459 件（回収率約 97%）だった結果から、保護者の皆様の学校に対する関心の高さが伺えます。

今回もアンケート実施と同時期に、児童と教職員にもアンケートを実施しました。それらの結果を報告させていただきます。

1. 「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

重点目標 学ぼうとする意欲や生涯にわたって学び続ける力を身につける。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①授業はわかりやすいですか。児童 95.4% 保護者 89.3% 教職員 72.0%
- ②授業で話し合うことは楽しいですか。児童 91.4% 保護者 83.4% 教職員 79.2%
- ③授業で「めあて」を確かめ、「振り返り」を行っていますか。
児童 95.6% 保護者 76.1% 教職員 88.0%
- ④自分から進んで家庭学習をしていますか。児童 75.3% 保護者 60.9% 教職員 56.0%
- ⑤学習ノートを見やすく書いていますか。児童 83.6% 保護者 69.4% 教職員 72.0%
- ⑥学習に図書や資料を使っていますか。児童 84.3% 保護者 49.9% 教職員 56.0%

分析（成果と課題）

③については、保護者の指数が前回より 6.8% 上がりました。授業の中で「めあて」を確かめ、「振り返り」を行うことの大切さを本校の教員が意識していること、また、ノート検定を始めて 3 年目になるが、実施していることで児童自身も意識していることの表れだと考えられます。

⑥については、保護者の指数が前回より 10.5% 下がりました。

分析を踏まえた取組の改善

図書や資料を使って授業を行うなど、さらに教科等の日常的な指導において学校図書館を活用する。情報の探し方・資料の使い方を教科学習の中でもしっかりと教えたりしていきます。また、授業で学んだことを確かめ、広げ、深め、資料を読み取り、自分の考えをまとめて発表するなど、児童の主体的な学習活動を進めていくことで、自主学習における図書や資料の活用にもつなげていきたいと思います。

2. 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 道徳教育の充実や規範意識の育成を図り、支えあい高め合う集団づくり・絆づくりの推進

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①周りの人から、大切にされていますか。児童 93.8% 保護者 98.4% 教職員 96.0%
- ②地域の行事に進んで参加していますか。児童 76.7% 保護者 76.6% 教職員 72.0%
- ③学校のきまりや社会のルールを守っていますか。児童 97.1% 保護者 96.9% 教職員 84.0%
- ④自分からあいさつができていますか。児童 87.8% 保護者 75.6% 教職員 64.0%
- ⑤読書の習慣が身についていますか。児童 86.2% 保護者 60.0% 教職員 84.0%
- ⑥他の人を思いやり、親切にすることができますか。児童 95.5% 保護者 93.6% 教職員 100%
- ⑦ものを大切にしていますか。児童 93.2% 保護者 69.0% 教職員 60.0%

分析（成果と課題）

保護者の指数が、前回より③については5.8%、⑥については8.2%上がりました。この2つの項目の重要度がほぼ100%を示した通り、学校・家庭・地域が三位一体となって、「学校のきまりや社会のルールを守る子」「他の人を思いやり、親切にする子」を育ててきた結果だと考えられます。

分析を踏まえた取組の改善

分析の結果、今回も概ね良好な状況と考えられます。今後も学校での取組をホームページや学校だより、授業参観・懇談会などを通してわかりやすくお知らせしていきたいと考えています。引き続き地域や家庭で子どもたちを見守り、教えていただくことも必要だと思います。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動やスポーツの実践と体力の向上、健康的な生活を送る子の育成

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①睡眠時間が8時間以上とれていますか。児童88.0% 保護者92.3% 教職員56.0%
- ②毎日朝ごはんを食べていますか。児童97.8% 保護者97.8% 教職員88.0%
- ③安全に集団登校できていますか。児童95.9% 保護者97.6% 教職員84.0%
- ④安全に下校できていますか。児童96.8% 保護者96.4% 教職員68.0%
- ⑤外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。児童85.8% 保護者75.5% 教職員76.0%
- ⑥テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。
児童73.3% 保護者57.2% 教職員40.0%

分析（成果と課題）

③については、保護者の指数が前回より6.6%上がりました。実際に地域の方々に見守られながら、高学年のリーダーのもと、きちんと並んで安全に登校している様子が見られます。

④の下校については、教職員の指数が登校に比べて16.0%下がっています。登校時に比べ、車道へはみ出している児童が時折見られ、注意することがありました。

⑥については低い値が出ています。

分析を踏まえた取組の改善

学校でも一人一人が安全に気を付けて、かつ気持ちを落ち着けて下校するように指導をしていきますので、ご家庭でもお声かけいただくなど、ご協力をお願いします。また、スマホ依存・ゲーム依存の話を子どもたちにしています。家庭でも注意深く見ていただきたい項目です。

4. 学校運営協議会（10月28日）より＜意見の一部を抜粋＞

- 子どもたちの落ち着いた学習の姿勢が大変良い。
- 地域でも、太鼓の練習をしているとき、たたく太鼓の順番を守り、待っている間に自主練習をしている宇多野の子の姿に感心している。
- 自分からあいさつできる子は、まだまだ少ない。残念ながらあいさつをしない親の姿がある。すすんで親自身が地域であいさつをし、その姿を子どもに見せてほしい。
- 全校道徳において、子どもたちが話し手に体を向けて聞いている姿が素晴らしい。低学年が学校全体で話せる雰囲気が良い。
- 子どもに「自分の身は自分で守る」よう指導し続けなければならない。
- 普段からとっさに大声を出せるように練習しておく必要がある。

